

神の恵みの福音

聖書：使徒 20:24, 32. エペソ 3:2. 4:29.

Ⅱ コリント 13:14. 12:9. ガラテヤ 6:18. 啓 22:21

I. 恵みとは、神ご自身がキリストの中でその霊としてわたしたちに与えられ、わたしたちによって得られ、わたしたちによって享受されることです。神の恵みの福音とは、恵みの執事職であって、神を人々の中へと分与して、彼らの享受とならせることです——ヨハネ 1:17. 使徒 20:24. エペソ 3:2 :

- A. キリストの中でわたしたちに与えられた恵みは、この世が始まる前にわたしたちに与えられました——Ⅱテモテ 1:9. テトス 2:11。
- B. 初めからおられた神は、時間の中で肉体と成って、人が受け入れ、所有し、享受するための恵みとなりました。そして神を、接触することができ、触れることができ、受け入れることができ、経験することができ、入ることができ、享受することができるものとなりました——ヨハネ 1:1, 14, 16-17。
- C. わたしたちの主イエス・キリストの恵みは、三一の神（彼は、御子の中に具体化されており、命を与える霊として実際化されています）の満ちあふれる供給であり、わたしたちの霊を活用することを通して、わたしたちによって享受されます——ガラテヤ 6:18。
- D. 日々、驚くべき神聖な伝達が起きているべきです。神は、恵みの霊をあふれるばかりに供給しています。わたしたちは絶えず、恵みの霊を受け入れ、分与しているべきです——ヨハネ 1:16. ヘブル 10:29 後半. ガラテヤ 3:2-5. エペソ 3:2. 4:29。
- E. 日々、恵みを受けて、わたしたちが恵みを流し出す道は、霊に戻り、霊を活用して、主に御座に着いていただくことです——詩歌 557 番：
 - 1. 恵みの御座は、わたしたちの霊の中にあります。わたしたちは満ちあふれる恵みを、わたしたちの内側の諸部分の中に受け入れる必要があります。それによって恵みはわたしたちの内側で王として支配し、わたしたちは命の中で王として支配し、サタン、罪、死に打ち勝ちます——ヘブル 4:16. ローマ 5:17, 21. 参照、啓 4:2。
 - 2. わたしたちは、霊に戻って主の御名を呼び求めることによって、恵みの御座へと来るときはいつも、主に御座に着いていただき、彼にわたしたちの内側でかしら、王、主となっていていただくべきです——コロサイ 1:18 後半. 啓 2:4-5. エペソ 6:24。
 - 3. 神の御座は、流れる恵みの源です。わたしたちが主を御座に着けず、主を御座から降ろすときはいつも、恵みの流れは止まります——啓 22:1。
 - 4. もしわたしたちが、わたしたちの内側で主イエスに御座に着いていただくなら、その霊は生ける水の川々として、恵みの御座から流れ出て、わたしたちを供給します。このようにして、わたしたちは恵みを受け、恵みを享受し、そして恵みを他の人たちに供給します——ヨハネ 7:37-39 前半. 参照、使徒 6:4。
- F. 日々、恵みを受けて、わたしたちが恵みを分与する道は、血、言葉、その霊、召会を通してです：
 - 1. 贖いの血、契約の血、神ご自身の血は、罪深い、腐敗した人々を、神の永遠の享

受の中へともたらしめます——使徒 20:28. マタイ 26:28. レビ 16:11-16. ヘブル 10:19-20. I ヨハネ 1:7, 9.

2. 神の言葉は、わたしたちによって食べられて、彼の恵みの言葉となり、わたしたちの心の楽しみと喜びになることができます——使徒 20:32. エレミヤ 15:16. ヨハネ 6:63. エペソ 6:17-18.
3. 恵みの霊は、手順を経て究極的に完成された神の満ちあふれる供給として、歓喜の油であり、それをもってわたしたちはキリストのパートナーとして塗られます——ヘブル 1:9. 10:29 後半. ゼカリヤ 12:10 前半.
4. 神の召会は、新鮮な、また活気づける神の恵みを、下ってくる露として経験します。この露は、神の深い同情を通して天からわたしたちに臨み、わたしたちに水を注ぎ、わたしたちを造り変えます——詩 133:2. 哀 3:22-23. II コリント 13:14. 使徒 11:23.

II. パウロは彼の務めにおいて、神の恵みの福音を厳かに証して、神を人々の中へと供給しました。パウロは彼の文書の中で、神の恵みが何であるかをわたしたちに明らかにしています——使徒 20:24, 32 :

- A. 恵みとは、神の訪れであり、人の中にとどまり、人の中で生まれ、人と一になります——ルカ 1:28, 30. マタイ 1:18. II テモテ 4:22.
- B. クリスマン生活は、恵みの生活、恵みの経験でなければなりません。それによってわたしたちは、恵みの執事職、すなわち、恵みの分与を遂行することができます——II コリント 12:9. II テモテ 4:22. エペソ 3:2 :
 1. わたしたちの言葉は、聞く人たちに恵みを伝えるべきです——ルカ 4:22. エペソ 4:29. イザヤ 50:4-5.
 2. 召会生活の中で、わたしたちは恵みを受けるとき、召会は建造され、わたしたちの受ける恵みは、目に見えるものとなります——使徒 4:33. 11:23.
- C. キリストのからだの実行上の生活と建造は、神の恵みとしてのキリストを内側で享受することから出てきます——I コリント 1:9. II コリント 13:14 :
 1. キリストの享受は、十字架の働きを通して、召会の中のすべての問題を解決します——I コリント 1:13 前半, 18, 23-24. 2:2.
 2. キリストの享受は、命の成長という結果になり、わたしたちを召会建造のための尊い材料として生み出します——3:6, 9-14.
 3. キリストの享受は、命の成長によってわたしたちの賜物を発展させます——12:1-11.
- D. 新契約の奉仕者は、苦難を通してキリストを彼らのすべてに十分な恵みとして享受します。新契約の務めは、啓示と苦難によって生み出されます——II コリント 12:7. 1:3-4, 8-10 :
 1. 恵みとしてのキリストは、新契約の奉仕者の上に幕屋を張る力となり、彼らの弱さを影となって覆い、彼らの住まいとなり、彼らを保持し、支え、維持し、保護し、守ります——II コリント 12:9 後半.
 2. わたしたちは、わたしたちの行動と保護のために、キリストにある神の恵みをわたしたちに適用して、強さと力とする必要があります——エゼキエル 1:6 後半, 9

前半．出 19:4．イザヤ 40:28-31．Ⅱコリント 4:7．1:12．12:9．Ⅰコリント 15:10．
詩 17:8．57:1．63:7．91:4。

- E．神の恵みとしてのキリストは、わたしたちが入り、享受し、経験し、あずかり、所有する良き地です——Ⅱコリント 1:12．12:9．13:14．コロサイ 1:12．2:6-7 前半．参照、出 3:8。
- F．恵みとは、神聖な三一がわたしたちの中へと伝達されて、わたしたちの享受となること、また三一の神が父、子、霊という三つの面において具体的に現されることです——Ⅱコリント 13:14．民 6:22-27．詩 36:8-9：
- 1．主の恵みは、わたしたちの命としての主ご自身であり、わたしたちの享受となります（ヨハネ 1:17．Ⅰコリント 15:10）。神の愛は、神ご自身であり（Ⅰヨハネ 4:8, 16）、主の恵みの源です。その霊の交わりは、その霊ご自身であり、主の恵みと神の愛との伝達であり、わたしたちにあずからせませす——Ⅱコリント 13:14。
 - 2．Ⅱコリント第 13 章 14 節で主の恵みが最初に述べられているのは、本書がキリストの恵みについてのものであるからです——1:12．4:15．6:1．8:1, 9．9:8, 14．12:9。
 - 3．聖霊は、キリストの恵みと御父の愛との循環、伝達であり、わたしたちのクリスチャン生活と召会生活の中の供給です：
 - a．召会生活全体は、Ⅱコリント第 13 章 14 節にかかっています。
 - b．Ⅱコリント第 13 章 14 節で啓示されている、わたしたちの内側の神聖な三一の流れは、わたしたちの霊的命脈です。
- G．神のエコノミーにおける神の恵みの産物は、三一の神の詩としての召会であって、彼の恵みの卓越した豊富を、彼の無限の知恵と神聖な構想と共に展覽します——エペソ 1:6-8．2:10, 7。
- Ⅲ．新約時代を通して、彼の選ばれた者たちの中へと分与される主イエスの恵みは、新エルサレムにおいて究極的に完成します。その中で、手順を経て究極的に完成された三一の神は、すべての信者によって享受される恵みとなって、永遠に至ります——啓 22:21。